

# 2020年3月期 第3四半期 業績概要

窪田 顕文

アンリツ株式会社  
取締役  
専務執行役員 CFO

2020年1月31日

*Beyond*  
**2020**



**5G** Testing  
Anritsu



東証第1部 : 6754  
<https://www.anritsu.com>



**Anritsu**  
envision : ensure

# 注記

---

本資料に記載されている、アンリツの現在の計画、戦略、確信などのうち、歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しであり、リスクや不確実な要因を含んでおります。将来の業績等に関する見通しは、将来の営業活動や業績に関する説明における「計画」、「戦略」、「確信」、「見通し」、「予測」、「予想」、「可能性」やその類義語を用いたものに限られるものではありません。実際の業績は、さまざまな要因により、これら見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、アンリツの事業領域を取り巻く日本、米州、欧州、アジア等の経済情勢、アンリツの製品、サービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場の中でアンリツが引き続き顧客に受け入れられる製品、サービスを提供できる能力、為替レートなどです。

なお、業績に影響を与えうる要因はこれらに限定されるものではありません。また、法令で求められている場合を除き、アンリツは、あらたな情報、将来の事象により、将来の見通しを修正して公表する義務を負うものではありません。

---

# 目次

- I. 事業概要
- II. 2020年3月期第3四半期 連結決算概要
- III. 2020年3月期 通期業績予想（連結）
- IV. 連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）
- V. 5Gサービスのロードマップと  
当社の取組について

# I. 事業概要

## T&M事業

ネットワーク社会の進化・発展

- ▶ モバイル市場 : 5 G, LTE
- ▶ ネットワーク・インフラ市場 : 有線・無線NW
- ▶ エレクトロニクス市場 : 電子部品、無線設備



## PQA事業

食の安全・安心

- ▶ X線検査機
- ▶ 金属検出機
- ▶ 重量選別機



## その他

- ▶ IPネットワーク機器
- ▶ 光デバイス



(セグメント別売上比率) 2019年3月期 実績 (連結) : 997億円

T&M 68%			PQA 23%	その他 9%
モバイル 53%	ネットワーク・インフラ 26%	エレクトロニクス 21%		

(T&M事業 地域別売上比率)

日本 19%	アジア、パシフィック 33%	米州 32%	EMEA 16%
-----------	-------------------	-----------	-------------

T&M: Test & Measurement    PQA : Products Quality Assurance

## Ⅱ - 1. 連結決算概要 - 業績サマリー -

### ▶ 前年同期比増収、増益

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)	前第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
受注高	739	826	87	12%
売上高	711	764	53	7%
営業利益	77	113	36	47%
税引前利益	79	112	33	43%
当期利益	63	83	20	33%
当期包括利益	65	79	14	22%

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ - 2. 連結決算概要 - 事業別売上高・営業利益 -

➡ T&M : 5G開発需要は順調

(単位：億円)

国際会計基準(IFRS)		前第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	当第3四半期 連結累計期間 (4-12月)実績	前年同期比 増減額	前年同期比 増減率(%)
T&M	売上高	486	542	56	11%
	営業利益	65	99	34	53%
PQA	売上高	166	159	△7	△5%
	営業利益	10	7	△3	△35%
その他□	売上高	59	64	5	8%
	営業利益	7	13	6	81%
調整額	営業利益	△6	△6	0	-
合計	売上高	711	764	53	7%
	営業利益	77	113	36	47%

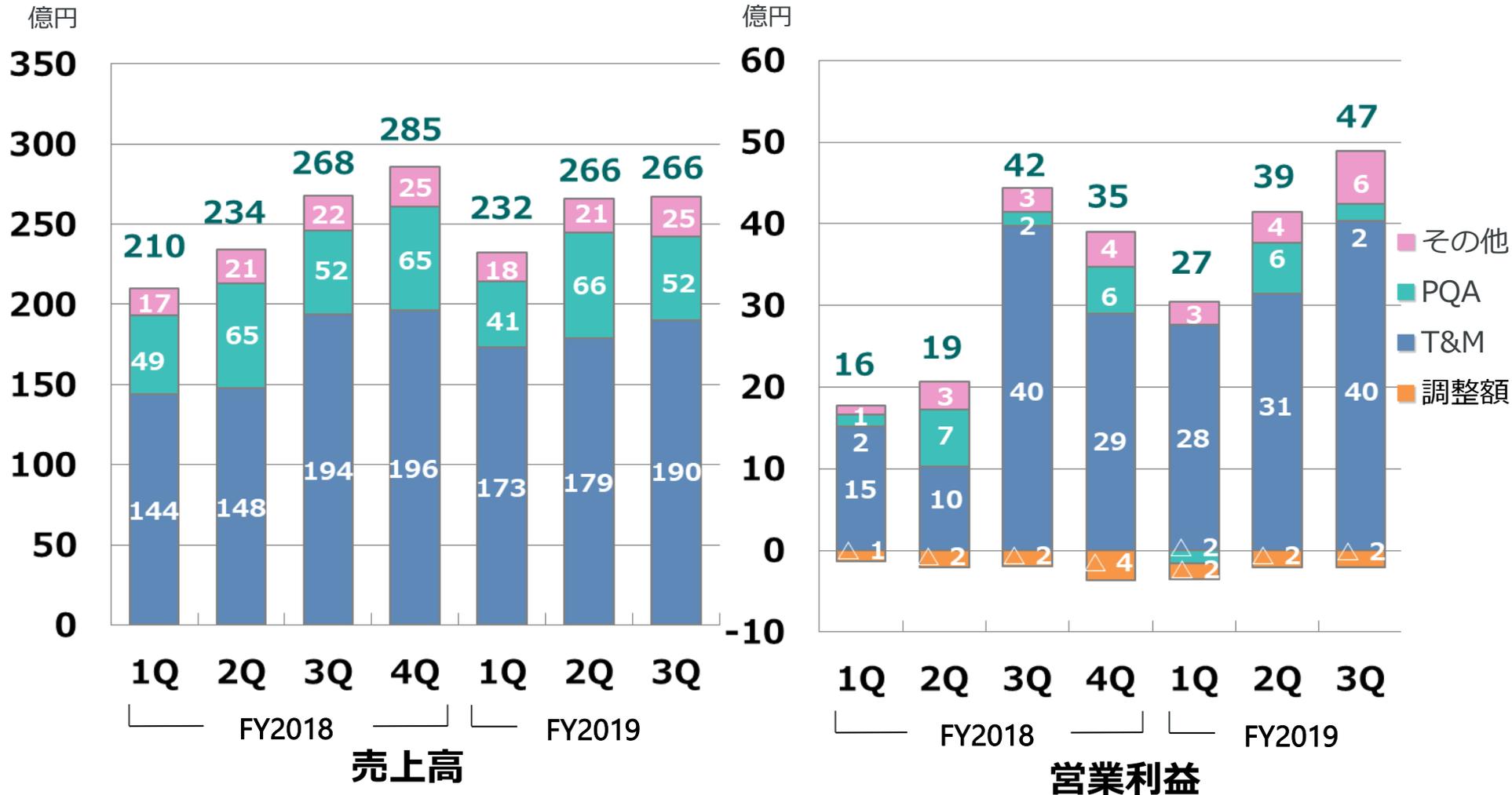
(注1) 値はそれぞれの欄で四捨五入

(注2) 調整額にはセグメント間取引消去、各事業セグメントに配分していない全社費用が含まれています。

T&M: Test & Measurement    PQA : Products Quality Assurance

## Ⅱ - 3. 連結決算概要 - 四半期毎 売上高・営業利益 -

➡ 3Q(10-12月)営業利益率：連結18%, T&M21%, PQA4%



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ - 4. 事業別営業概況

セグメント

2020年3月期第3四半期（4月-12月）の状況

 **T&M** : 5G商用化スケジュールが順調に進展

モバイル	LTE	LTE-Aの投資は抑制・縮小が続く
	5G	5G開発の需要が順調に推移
Network Infrastructure		5Gネットワークの整備が始まる
アジア	5G商用化に向けた投資拡大	
米州	5Gサービスが開始。今後のエリア拡充に注視	

 **PQA** : 国内・海外とも食品市場の品質保証、自動化、省力化の投資が堅調

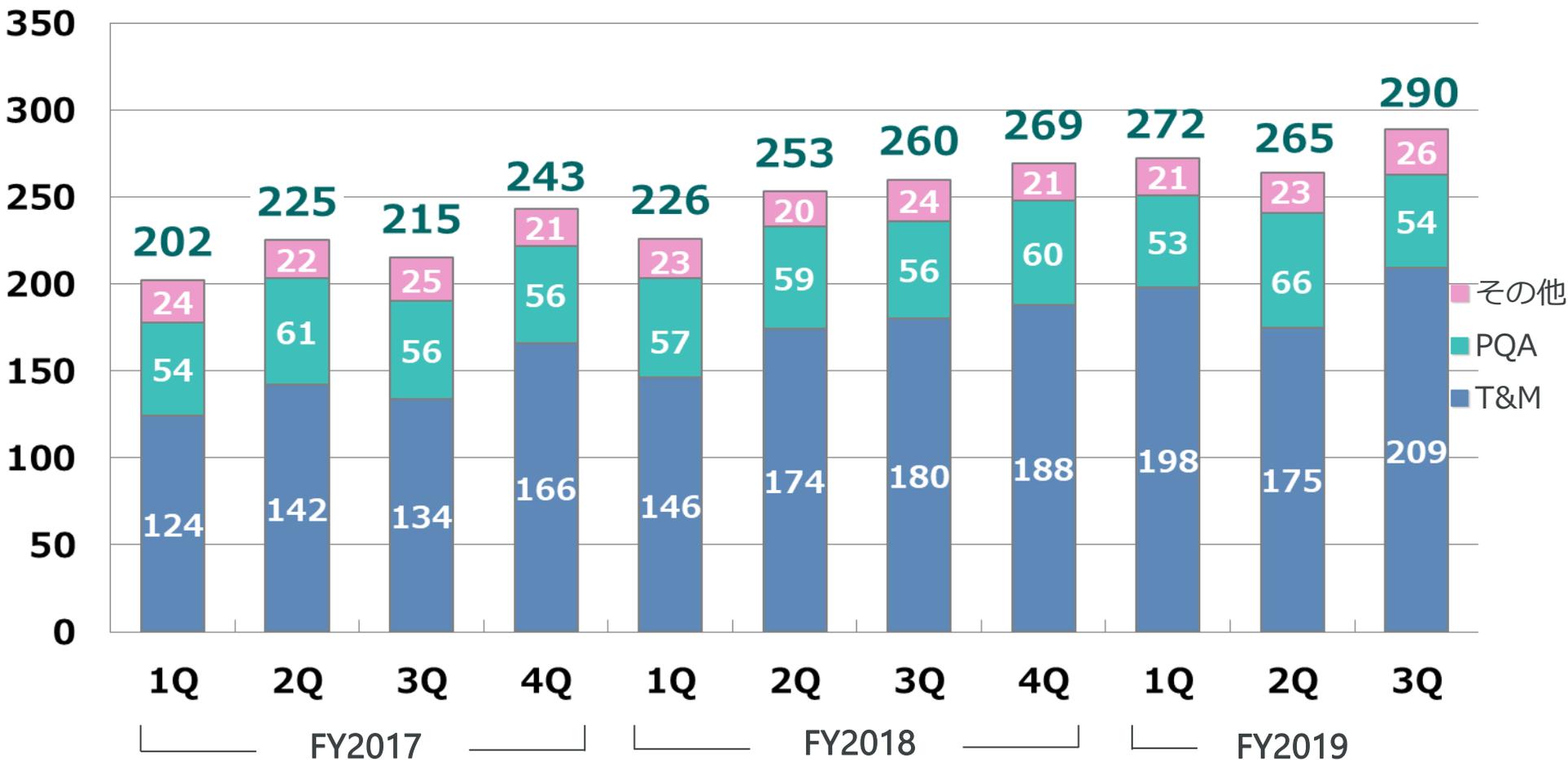
T&M: Test & Measurement    PQA : Products Quality Assurance

## Ⅱ - 5. 受注高推移

➡ T&M：前年同期比16%増

➡ PQA：前年同期と同水準

億円

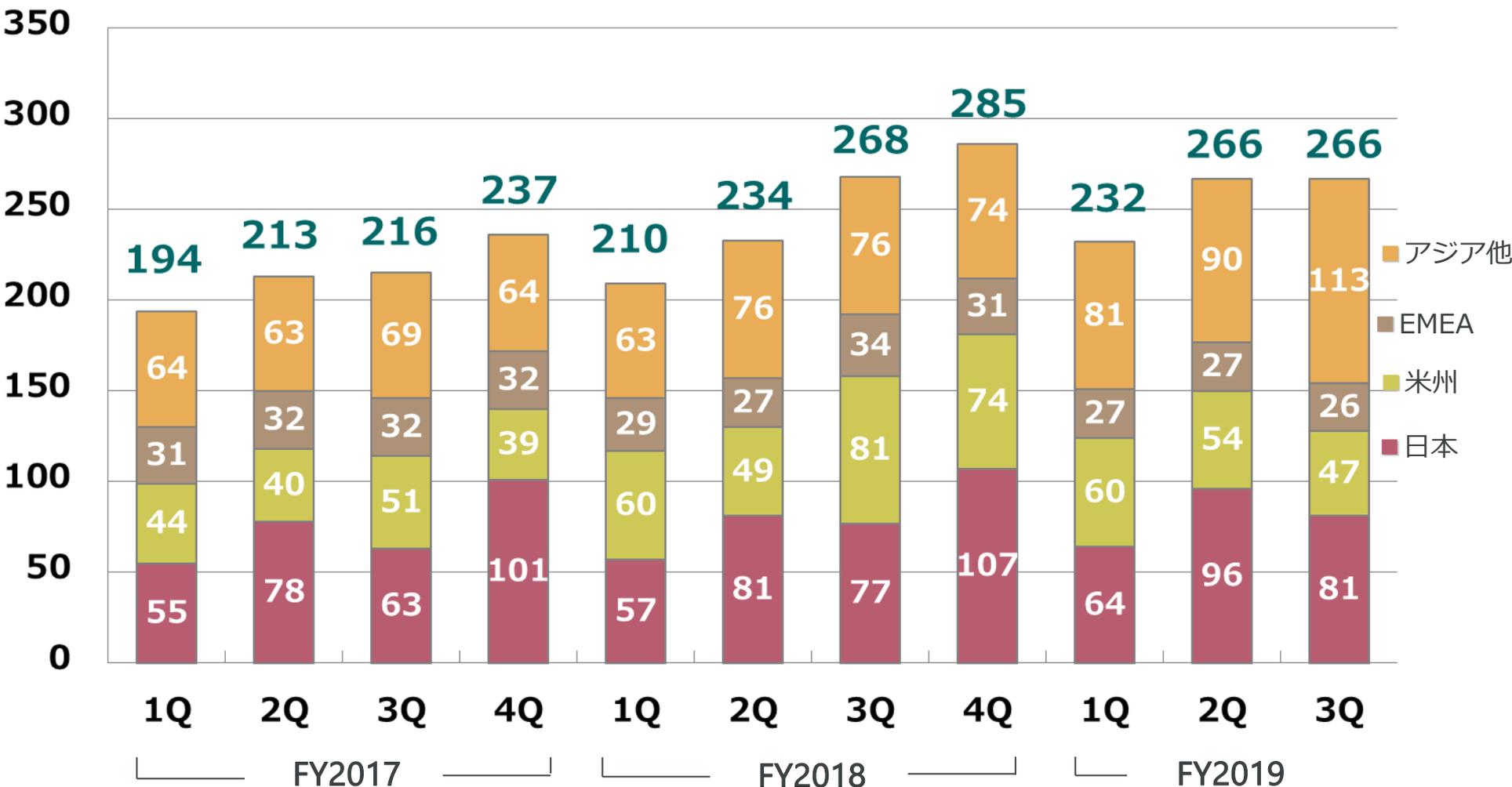


(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ - 6. 地域別売上高推移

▶ アジアの5G関連需要は好調

億円



(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

## Ⅱ- 7. キャッシュフロー

▶ 営業CFマージン率11.8%

### FY2019 3Q (累計)

- ① 営業CF : 90億円
- ② 投資CF : △ 21億円
- ③ 財務CF : △ 74億円

### フリーキャッシュフロー

(① + ②) : 70億円

### 現金同等物期末残高

444億円

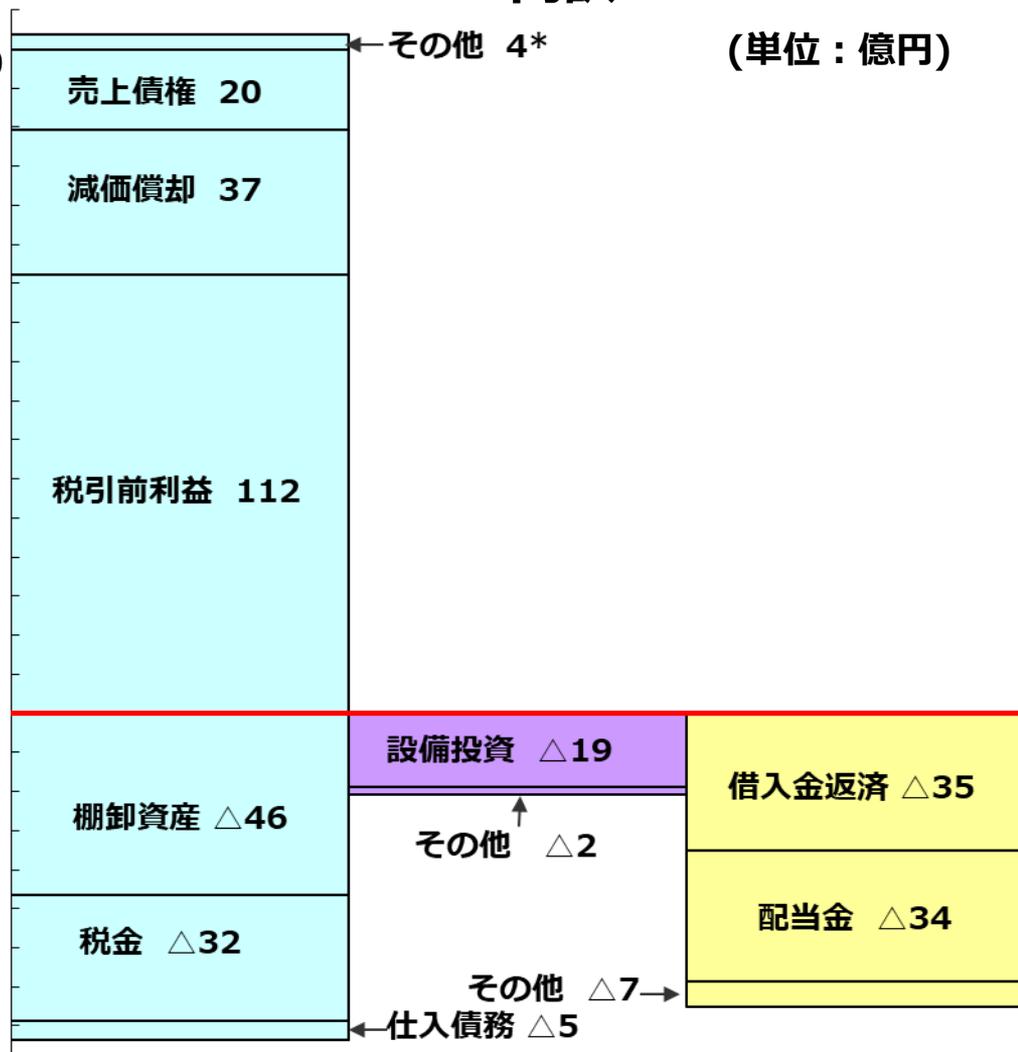
### 有利子負債残高

(リース負債を含む)

147億円

### 内訳

(単位：億円)



\*その他の主な内容：前受金、預り金など

(注) 値はそれぞれの欄で四捨五入

# Ⅲ -1. 2020年3月期 通期業績予想（連結）

## ▶ 連結業績予想を上方修正

（単位：億円）

		2019/3期	2020/3期				
		前期実績	通期予想			前期比	
			4/25発表	10/30発表	今回	増減額	増減率(%)
売上高		997	1,020	1,030	1,050	53	5%
営業利益		112	100	115	155	43	38%
税引前利益		114	100	115	155	41	36%
当期利益		90	75	85	110	20	22%
T&M	売上高	682	690	700	730	48	7%
	営業利益	94	80	95	135	41	43%
PQA	売上高	231	245	245	235	4	2%
	営業利益	16	20	20	16	0	0%
その他	売上高	84	85	85	85	1	1%
	営業利益	11	9	9	13	2	14%
調整額	営業利益	△ 9	△ 9	△ 9	△ 9	0	-

（参考） FY18 為替レート : 1米ドル111円、1ユーロ=128円  
 FY19 期初想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=125円  
 FY19 下期想定為替レート : 1米ドル105円、1ユーロ=125円

（注） 値はそれぞれの欄で四捨五入

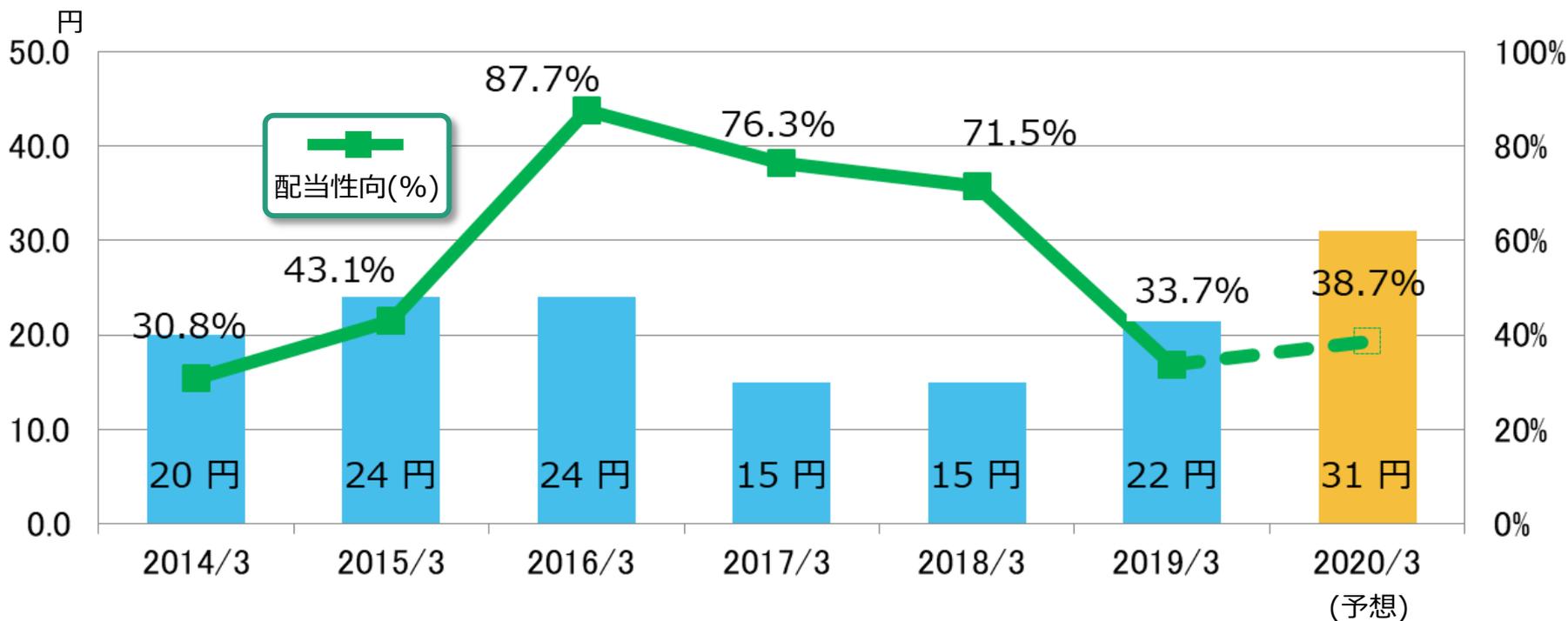
## Ⅲ - 2. 配当予想について

年間配当  
増配

22円 → 31円

(中間配当11円、期末配当20円)

	年間配当	当期利益	配当性向	DOE	ROE
2020年3月期 (予想)	31円	110億円	38.7%	4.6%	12%
2019年3月期 (実績)	22円	90億円	33.7%	3.7%	10.9%



## IV. 連結子会社の吸収合併（簡易合併・略式合併）

当社は、利益ある持続的成長に向けた新たな取組み「Beyond 2020」を始動させ、グループ一丸となって経営理念・経営ビジョンの実現に邁進する企業へのトランスフォーメーションを進めております。

当社グループの活性化及び人財力強化を図り、複雑かつ変化し続ける市場環境へ対応し新たなビジネスの創出に挑む新体制を構築するため、当社の完全子会社であるアンリツネットワークス株式会社、アンリツエンジニアリング株式会社及び株式会社アンリツプロアソシエを吸収合併することといたしました。

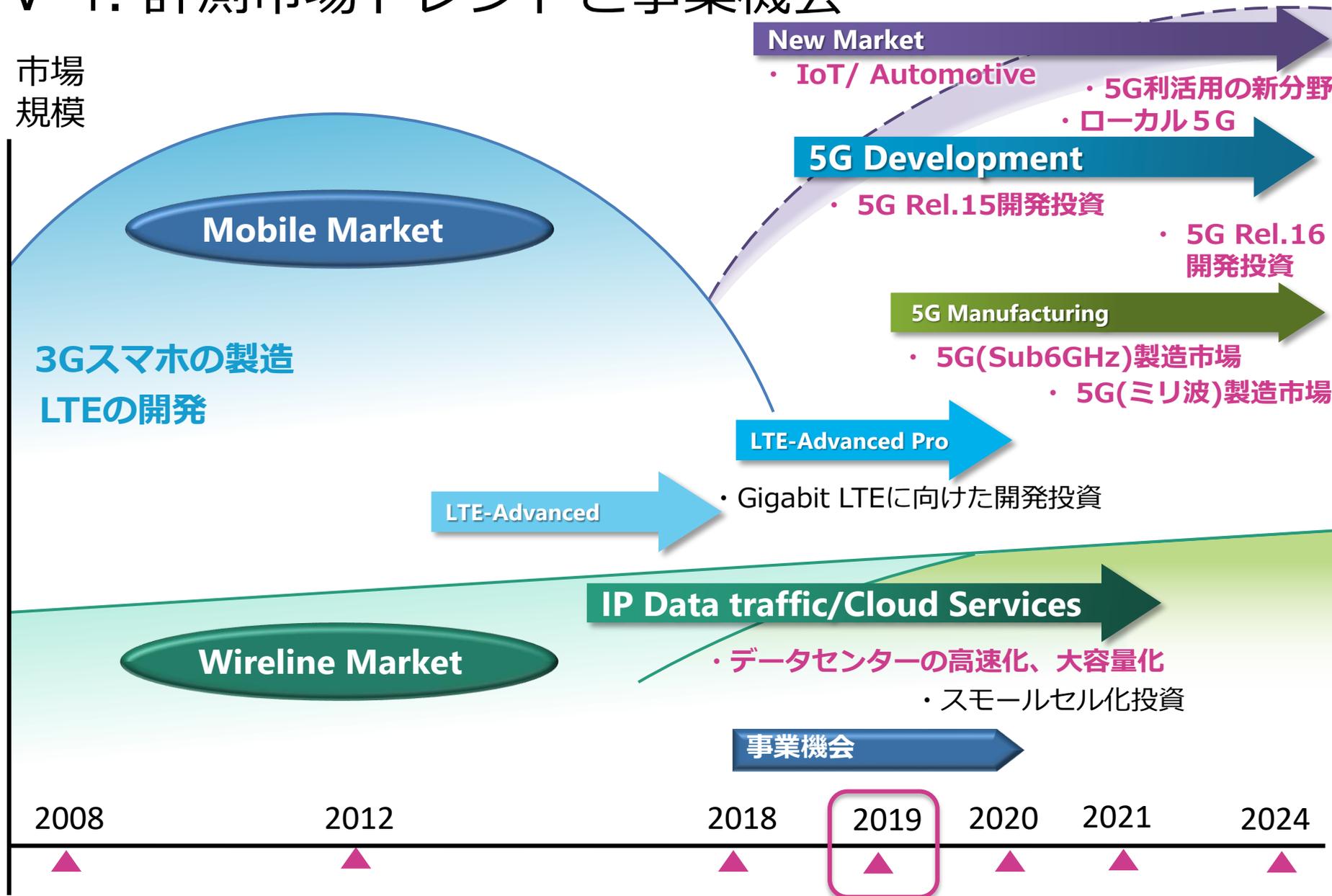
合併予定日(効力発生日)                      2020年4月1日（予定）

# V. 5Gサービスのロードマップと 当社の取組について

濱田 宏一

アンリツ株式会社  
代表取締役 社長  
グループCEO

# V-1. 計測市場トレンドと事業機会



# V-2. 5Gサービスのロードマップ

\* 出所：一般公開情報を参考に当社作成

CY2019	CY2020	CY2021
--------	--------	--------



★ WRC-19

★ Rel.16 (Phase2超低遅延、多数同時接続のユースケース拡張)

★ Rel.17

Rel.15商用チップ開発

Rel.16チップ開発

先行端末開発

商用端末開発拡大

Rel.16端末開発



# V-3. 中国で5G商用化に向けた開発投資拡大

\* 出所：一般公開情報を  
参考に当社作成

CY 2019

CY 2020

**中国政府**  
5G免許交付

**中国キャリア**  
5G商用開始  
50都市 13万か所 1000万人

**Oppo**  
5G端末販売開始

**Huawei**  
5G端末販売開始

**Lenovo**  
世界初 5G NotePC発表

**Xiaomi**  
5G端末販売開始

**ZTE**  
5G端末販売開始

**MWC上海2019**

**VIVO**  
5G端末販売開始

**Quectel**  
5GmmW通信成功

**Xiaomi**  
2020年5G端末10機種以上投入

**Oppo**  
MediaTek 5Gモデム搭載端末販売

**Oppo**  
2020年 日本で5G端末販売

# V-4. 5G端末の開発・製造プロセスとテストソリューション

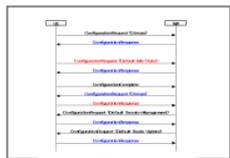
Sub6 / ミリ波

Sub6 / ミリ波

Sub6

ミリ波

チップセットメーカー  
の技術検証



プロトコル



ベースバンドチップ  
セット / RF回路

端末メーカーの  
結合・性能評価



機能・性能評価

端末メーカー/テストハウス  
規格適合性試験

Conformance Test  
(CT)



事業者受入試験

Carrier Acceptance  
Test (CAT)



量産試験



RF校正・検査



MT8000A  
ラジオコミュニケーション  
テストステーション



ME7873NR/ME7834NR  
5G NRコンFORMANCE・事  
業者受入試験テストシステム



MT8870A  
ユニバーサルワイヤレス  
テストセット



**Anritsu**  
envision : ensure